

互いに密着することで、果房の外観は円筒形に近くなった。

一般にブドウは果粒が大きいほど高級とされ、‘ピオーネ’のように房が良くしまった円筒形のものが好まれる。‘シャインマスカット’においても、外観品質を向上させるため、CPPU 処理濃度を高くすることで、果粒肥大促進や粒形に丸みを持たせることによって房の形を整え、高級感を出すことも有利販売のひとつの手段と考えられる。しかし、本結果から、皮ごと食べやすさを考慮するならば、逆に満開期の CPPU 処理は実施しない方が良くと考えられた。

ただし、‘シャインマスカット’は、特に若木において、‘巨峰’や‘ピオーネ’といった既存品種より花振いが発

生しやすいことから、安定して良質な果房を得、かつ、皮ごと食べやすさを維持するためにも、満開期の CPPU 処理は適用濃度の下限である 2ppm で処理することが最も望ましい使用方法と考えられた。

現在、果物全体で皮ごと食べられるという新たな形質について非常にニーズが高まっている。‘シャインマスカット’栽培においても、皮ごと食べやすさを維持するために、果粒肥大を高濃度の CPPU に頼るのではなく、こまめな新梢管理や早めの摘粒・摘房などの基本技術の励行によって、果実品質の向上を図ることが重要と考えられる。

参考文献

笈田幸治ら 2017. 満開期における CPPU 処

理濃度の違いがブドウ‘シャインマスカット’果粒の皮ごと食べやすさに及ぼす影響. 園芸学研究 16,287-293.

笈田幸治 2018. 満開期におけるフルメット処理が「シャインマスカット」の皮ごと食べやすさにおよぼす影響. 果実日本 73(3),26-29.

門脇伸幸ら 2012. ブドウ‘シャインマスカット’における CPPU 処理の加用方法が果皮破断応力, 果粒果径比, 果粒内部空洞に及ぼす影響. 園学研 11(別 1),67.

持田圭介ら 2013. CPPU 処理濃度の違いがブドウ‘シャインマスカット’の果実品質に及ぼす影響. 園芸学研究 12,155-163.

山田昌彦ら 2017. ブドウ新品種‘シャインマスカット’の育種と普及. 園芸学研究 16,229-237.

山田昌彦ら 2008. ブドウ新品種‘シャインマスカット’. 果樹研究所報告 7,21-38.

田畑の草種

露草・鴨跖草・月草・着草・螢草・帽子花・青花 (ツククサ)

(公財)日本植物調節剤研究協会
兵庫試験地 須藤 健一

ツククサ科ツククサ属の一年生植物。全国の畑や道端などでごく普通に見かける。背丈は 10cm から 50cm くらいで直立することはなく、地面を這いながら節から根を出して広がる。花卉は 3 枚。上に突き出た 2 枚は青くて目立つが下に雄蕊や雌蕊をそっと受けるように白い小さな 3 枚目の花卉がある。朝露ともに咲いて昼には萎む半日花である。

日本在来で、すでに万葉の時代にはツククサの花から取り出した青色が染料として使われていた。しかしこのツククサの染料で染めた着物は、光や水で色が落ちやすかった。そのことをわが身に引き当てた歌が万葉集に 9 首。

百に千に人は言ふとも月草の

うつろふ心我れ持ためやも (巻 12)

朝咲き夕は消ぬる月草の

消ぬべき恋も我れはするかも (巻 10)

「月草」がツククサ。この 2 首はどちらも作者不詳であるが、前の歌は色が落ちやすいことを「うつろふ (恋) 心」と喩え、

後の歌は自らの恋心を半日花に喩えている。

恋心に喩えていた万葉人たちであるが、清少納言になると「つき草、うつろひやすなるこそ、うたてあれ」と、ころころ変わるの嫌だ、となる。

西行になると「露草」という名の「露」というだけではかないものであり、言葉自体が好ましくないという。

うつり行く色をばしらず言の葉の

名さへあだなる露草の花 (山家集)

「露草」は秋の季語である。ツククサを詠んだ句は多い。そんな中で、ツククサの花の構造の繊細さやその開花の複雑さ、生命力のたくましさを詠んだ句を 2 句。

露草や分銅つまむピンセット (小川軽舟)

つゆ草の節ぶし強し変声期 (泉原みつゑ)

このツククサ。落語の世界でも取り上げられている。笑福亭一門によって語られることの多い「花色木綿」の「花色」は、ツククサから取り出される青色である。